



(株)インテグレックスのCSR評価

---

2005年10月24日  
株式会社インテグレックス  
代表取締役社長 秋山をね



# インテグレックスの基本理念と会社概要

---

## 基本理念

インテグレックスは、公正な第三者機関として、  
社会責任投資(SRI)と企業社会責任(CSR)の推進により、  
より誠実で透明性の高い社会の建設をめざします。

## 会社概要

社名： 株式会社インテグレックス  
所在地： 東京都渋谷区恵比寿4-7-2 KBKビル3階 電話：03-5793-3205 FAX：03-5793-3207  
設立： 2001年6月 資本金：6,000万円 代表取締役社長：秋山をね  
事業内容： 社会責任投資(SRI)のための調査研究、投資顧問業(登録番号：関東財務局長第1031号)  
企業社会責任(CSR)の推進  
Eメール： info@integrex.jp ホームページ：www.integrex.jp



## CSR評価の視点

---

### CSRの基本

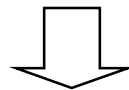
企業理念を誠実に責任を持って遂行すること

⇒ 信頼、尊敬、誇り

(社会を否定したり無視する理念を掲げている企業はない)

### 評価の視点

自らの理念に基づく事業活動を行うための  
マネジメントシステム を 重視



「社会と共生」しながら

「持続的成長」をするための「競争力」を持つ企業への投資



# CSR評価の考え方

CSRを果たし持続的に成長する企業

## 経済的側面

- \* 品質による競争力
- \* 価格による競争力
- \* サービスによる競争力

## 社会的側面

- \* 人へのやさしさ
- \* 社会へのやさしさ
- \* 環境へのやさしさ

## 企業経営の誠実さと透明性

- トップのインテグリティ - 経営トップのコミットメント
- 組織のインテグリティ - マネジメントシステムの構築
- 働く人のインテグリティ - 理念に基づく企業風土の醸成

# CSRへの取り組み

## 基本は誠実さ(インテグリティ)

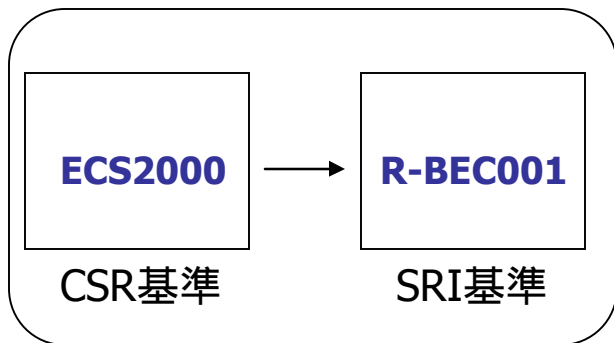


# 評価のベース

## CSR基準のECS2000 と SRI基準のR-BEC001

ECS2000 ( Ethics Compliance Standard ) は、PDCAサイクルに基づくCSR遂行のためのマネジメントシステム規格。R-BEC001は、それをもとに作成されたCSRへの取り組みを調査するための、膨大な設問集を含む包括的な枠組み。共に、麗澤大学企業倫理研究センター（センター長高巖教授）を中心とした有識者によるプロジェクトチームによりまとめられた。高教授は、CSRの規格化を決定したISOの高等諮問委員会（HLAG）に日本を代表して参加した。

麗澤大学企業倫理研究センターを中心とする  
有識者によるプロジェクトチーム



インテグレックス



ECS2000、R-BEC001を  
基に調査票を開発  
企業調査・評価を実施

運用会社





## 評価機関にもとめられるインテグリティ

---

- 1) 評価機関の誠実さ
- 2) 評価の中立性
- 3) 評価に関する説明責任
- 4) 企業情報に関する守秘義務
- 5) 企業情報の維持管理責任 - 被評価会社に対する責任
  - 説明責任
  - 目的の明示
  - 被評価会社の承諾
  - 情報収集の制限
  - 情報の使用、開示、保管の制限
  - 情報の正確さ
  - 情報に対する保護措置
  - 被評価会社への公開性
  - 自社情報へのアクセス
  - 被評価会社による異議申し立て



# インテグリティを担保するために

## 経営のチェック - 経営諮問委員会の設置

インテグレックスが行う業務の中立性・公正性を維持するために、社外の有識者により業務プロセスのチェックを受け、経営の透明性を高め、誠実さを確保することを目的に経営諮問委員会を設置

委員 城所 孝至 (元投資信託協会会長、元日興証券副社長)  
(五十音順) 國廣 正 (弁護士、国広総合法律事務所)  
高橋 陽子 (日本フィランソロピー協会理事長)  
デイヴィス T. スコット (麗澤大学企業倫理センター運営委員、国際経済学部教授)  
菱山 隆二 (企業行動研究センター所長、元三菱石油顧問)  
平田 雅彦 (エシックスマネジメント代表、元松下電器産業副社長)

## 調査の中立性の確保 - 外部監査の導入

インテグレックスのCSR調査および評価が、R-BEC001が求める調査機関への要求事項に従い公正かつ誠実に実施されているかということに対する監査法人による検証を受け、保証を取得

外部監査実施機関 新日本監査法人

## 調査に関する説明責任 - 評価のフィードバック

調査の目的・用途の明示と、評価結果の当該企業へのフィードバックを実施





## 調査対象および調査票

---

### 調査対象(2004年度 第4回調査)

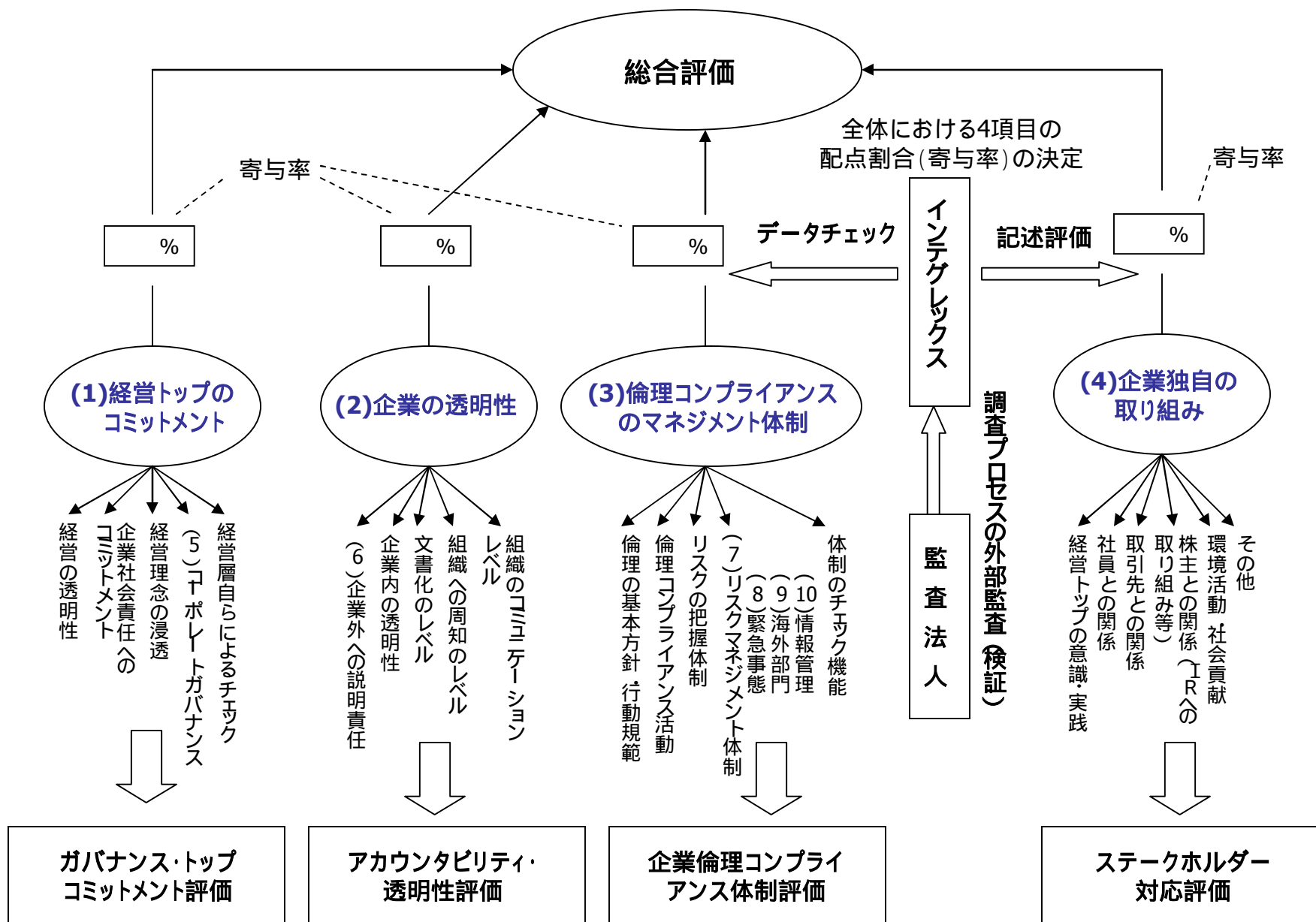
### 評価企業数

2004年5月16日現在全上場企業	3,695社	851社
内、金融機関(銀行、証券、保険会社)	159社	57社
東証1部上場企業(金融機関以外)	1,466社	534社
東証1部以外市場上場企業	2,070社	260社

### 調査票 (R-BEC001を基に作成)

- 「トップ」 社長/最高経営責任者宛て = CSR(企業社会責任)について
- 「MS」 コンプライアンス・法務宛 = CSRのマネジメントシステム(MS)について
- 「IR」 IR・広報宛て = CSRに関する取り組みについて

# 評価モデル図





## 緊急事態対応 1

調査にもとづく情報提供以外に、投資対象企業については、常にその状況をウォッチ  
投資対象企業において、その社会的評価に重大な影響を与える可能性のある事象(事故、事件、  
不祥事等を指し、決算予想の修正等の財務的な事象は除く)が発生した場合、以下の対応を行う

### 緊急事態対応の具体的な手順

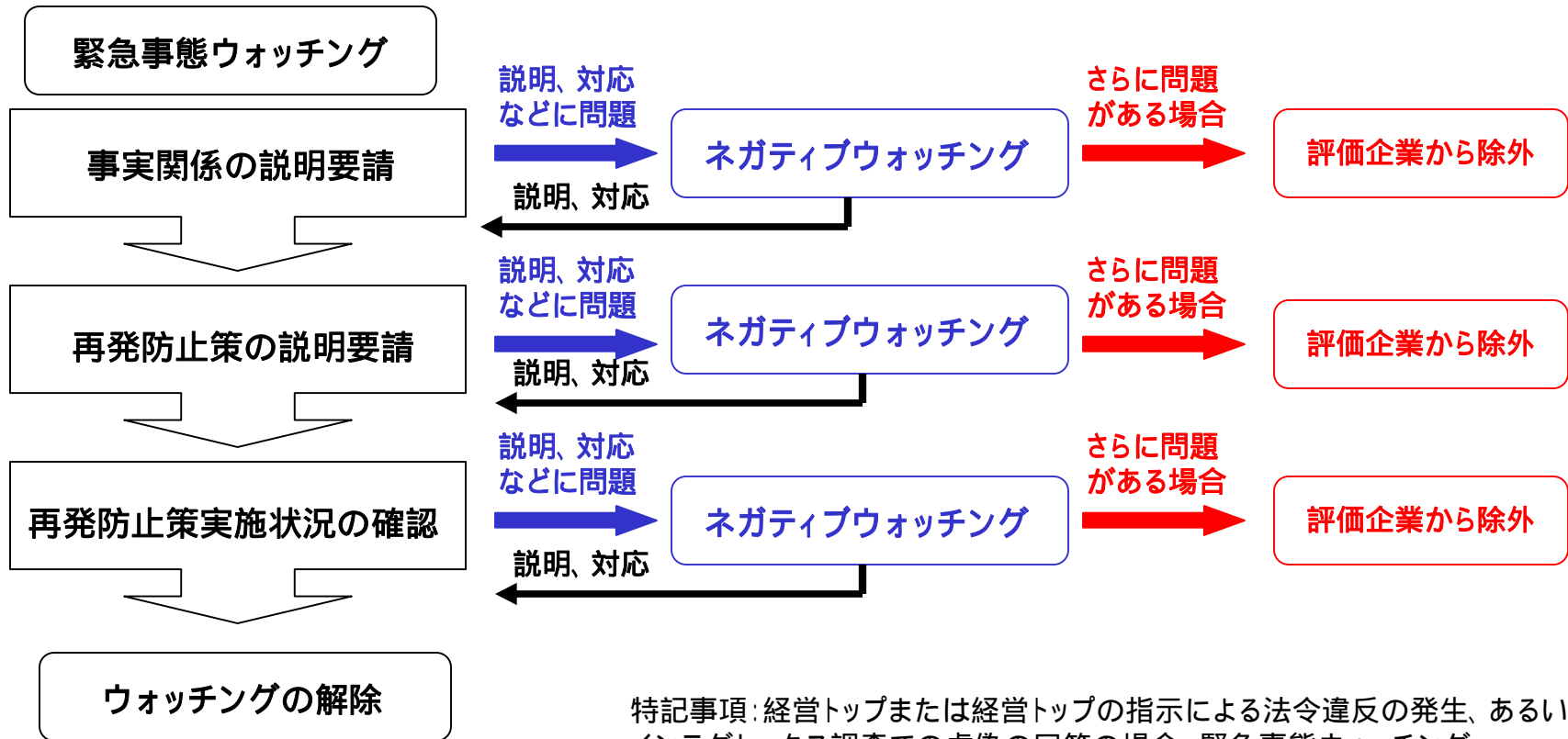
- 1 当該企業に事実関係についての説明を求める
- 2 当該企業に再発防止策についての説明を求める
- 3 再発防止策にしたがった取り組みを展開しているかどうかを確認する

### 評価は3段階で行う

- 1 緊急事態ウォッチング評価 – 社会的評価に重大な影響を与える可能性のある事象が発生した場合。 **売買は運用者の判断**
- 2 ネガティブウォッチング評価 – 説明、対応などに問題がある場合。 **売買は運用者の判断**
- 3 **評価企業から除外** – 説明、対応などに重大な問題がある場合や当該企業の倫理性に重大な懸念があると判断される場合。 **組入除外**

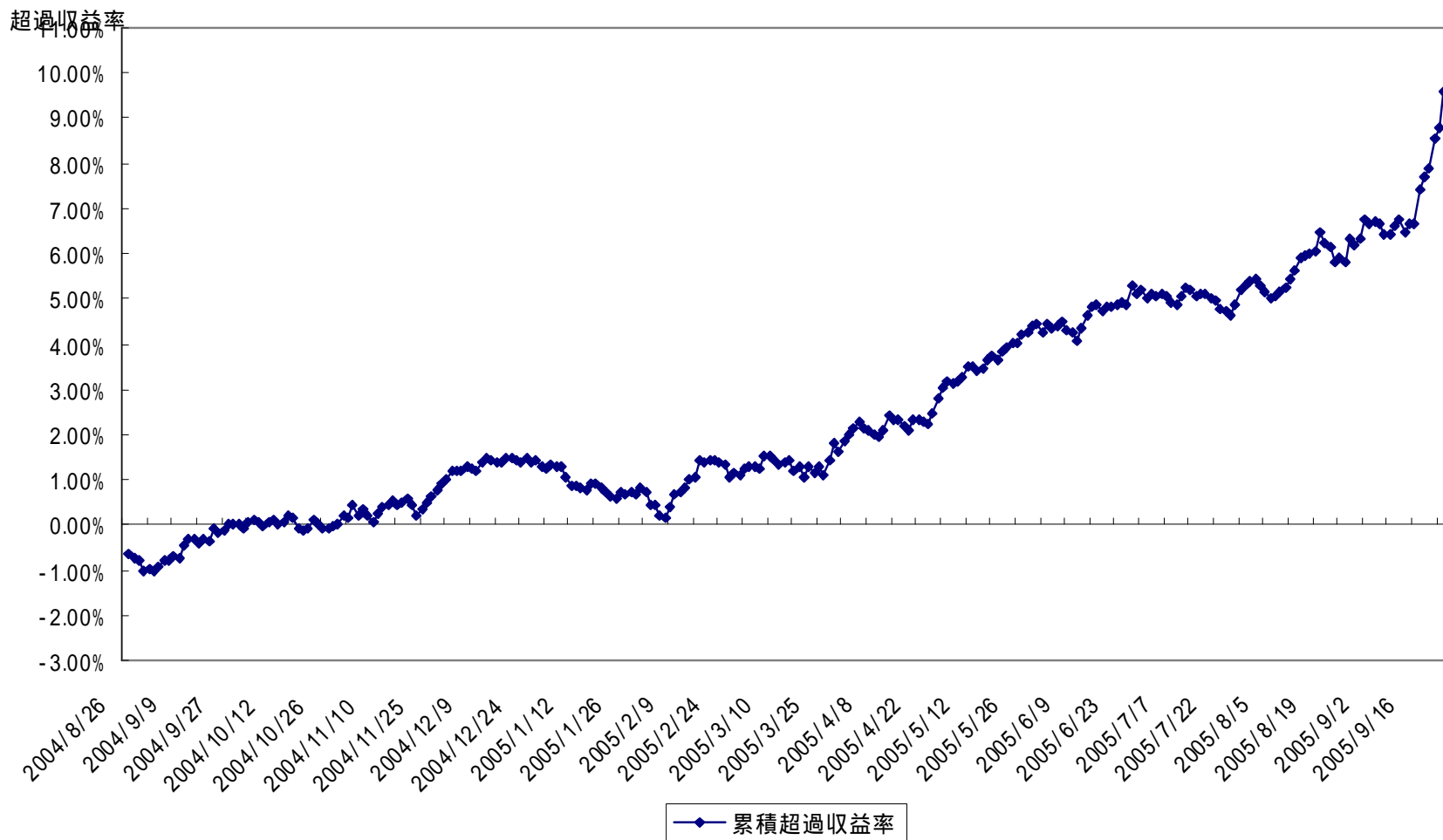
## 緊急事態対応 2

投資対象企業に緊急事態発生



特記事項: 経営トップまたは経営トップの指示による法令違反の発生、あるいは、インテグレックス調査での虚偽の回答の場合、緊急事態ウォッチング評価を飛ばし、ネガティブウォッチング評価を実施する

# インテグレックスのCSR評価に基づくファンド(中央三井SRIマザーファンド) パフォーマンス推移(対TOPIX累積超過収益率)



中央三井SRIマザーファンドの設定来累積超過収益率(対配当込みTOPIX)  
出所: 三井アセット信託銀行

「**道徳なき経済は罪悪であり、  
経済なき道徳は寝言である**」

**二宮 尊徳**

(「**二宮翁夜話**」 福住正兄)